

平姓 高式百俵

金田 家紋 繫四目結
三ツ金輪

昌勝 文昭院殿より故有て繫四目結之紋ヲ
拝領家紋とす

金田小太夫頼次末葉山城國住人
金田半右衛門昌次惣領

昌勝

金田次郎兵衛

山城国浪人にて延宝七未年十一月十

八日

天英院殿櫻田御殿へ別家召出され七拾

俵三人扶持勤知らず○御賄頭○元禄十

一年三月廿四日死増上寺中池徳院に

葬

昌豊

金田半右衛門

元禄二巳年九月六日櫻田御殿御侍○同

十一寅年七月廿二日家督○宝永元申年

十月西丸御供○同年十二月七日

天英院殿御用達○同年十二月十五日加秩

合式百俵○享保四亥年十月十五日病

免○同十六亥年十月五日死六拾三歳

同寺葬

以下略